

きっと もっと ずっと
私らしく あなたらしく



公益財団法人
せんだい男女共同参画財団
について

平成25年11月28日
仙台市男女共同参画推進審議会



アウトライン

- **平成13年4月 財団法人として設立**
(平成24年4月公益財団法人へ移行)
- **基本財産 2億円** (全額仙台市出資の市の外郭団体)
- **設立目的** 「男女平等のまち・仙台」の早期実現に向けて
 - 女性の自立及び社会参画を促進する事業の実施
 - 市民の主体的活動の援助育成
 - 男女平等の社会的風土づくりの推進
- **組織** (事業概要 p1)
- **職員数 44名** (平成25年11月1日現在)
 - プロパー職員 22名、嘱託 10名、臨時職員 10名、市派遣 2名



あゆみ

- 昭和62年3月 エル・パーク仙台開館
- 平成13年4月 財団設立
エル・パーク仙台の管理運営受託
- 平成15年4月 エル・ソーラ仙台の管理運営受託
5月 エル・ソーラ仙台開館
- 平成16年4月 2つのセンターを管理運営する、指定管理者となる
(現在の指定期間 平成23年度～平成27年度)
- 平成23年10月 エル・ソーラ仙台リニューアル・オープン
- 平成24年4月 公益財団法人に移行
- 平成25年4月 仙台市母子家庭相談支援センター事業受託

※WM財団設立10周年記念号も併せてご覧ください。



事業概要(自主事業)

(1) 調査研究

- ・女性の生活状況及び社会的困難をめぐる事例調査(平成25年3月)
- ・配偶者やパートナー等との間における暴力に関する調査(平成21年4月・仙台市との共同調査)

(2) 広報・啓発

- ・財団情報誌「WM・ダブリュエム」など各種広報物
- ・地域、学校、企業等への出前講座・講師派遣 など

(3) 情報収集・提供

- ・ホームページ運営管理

(4) 学習支援、 研修、交流促進

- ・ジェンダー論講座、ガールズのパソコン+しごと“ゆる〜り”準備講座、育休復帰をイメージアップ!、ゾクゾク女性映画監督作品集(映画上映) など

(5) 市民活動の支援

- ・男女共同参画推進せんだいフォーラム、市民活動サポート事業、自助グループ支援事業、女性リーダースキルアップ講座、託児事業 など

(6) その他事業

- ・共催事業、賛助会運営



事業概要(指定管理・受託)

指定管理事業

施設管理・運営

エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台の諸室の貸出、利用相談等

相談

- 女性相談
一般相談(面接・電話)、法律相談
- 女性への暴力相談電話
- 性別による差別などに関する相談

情報・市民活動支援

- エル・パーク仙台
市民活動スペース
- エル・ソーラ仙台
市民交流・図書資料スペース

受託事業

母子家庭相談支援センター

- 就業・自立相談(面接・電話)、特別相談
- 就業支援講習会(パソコン講座等)
- 企業向け啓発セミナー
- ひとり親家庭関係相談員等への活動支援

その他

仙台市からの講座等の受託



平成25年度 収支予算

収 入	基本財産運用収入賛 助会会費	2,837千円	
	事業収入	406,384千円	うち指定管理料 384,226千円 うち母子家庭相談支援センター 委 託料 20,754千円
	仙台市補助金	29,094千円	
	雑収入	2,636千円	
	合計	440,951千円	

支 出	自主事業	11,738千円	
	受託事業	20,949千円	
	指定管理事業	372,656千円	
	法人管理運営	22,828千円	
	合計	428,171千円	



東日本大震災を経て

○ 主な被災者支援事業

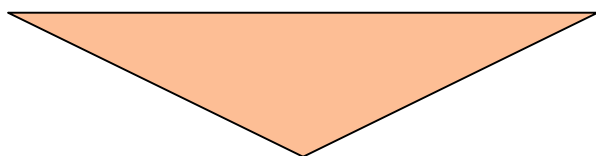
- 女性の悩み災害時緊急ダイヤル
(平成23年3月29日～7月23日 相談件数324件)
- ほっとするスペースの提供
 - 「こころと暮らしの立ち直りを支援するスペース」
 - 「エル・パーク カフェ」
- 「せんたくネット」～**せんだい**の女性たちが**たくさん**の女性の本音を汲み取って、一緒に解決する**ネットワーク**～
 - 洗濯代行サービスから、新たなニーズの拾い上げ（ズボンの丈詰め、ブラジャーとサニタリーショーツを届けよう！）
- MDGガールズプロジェクト
 - 大人と子どもの中で支援が届きにくい中高生に対し、女子大生と女子専門学生が気持ちに寄り添った支援を展開



日本女性会議2012仙台

「きめる、うごく、東北(ここ)から」

- 平成24年10月26日～28日
- 全国47都道府県から約2,200名が参加
- 会議の成果「仙台宣言」
 - 女性自身が「きめる」ことの重要性
 - 女性自らが「うごく」ことの必要性



- 「復興と女性 基金」の設立
 - 被災地の現状の継続発信



復興と女性の今を発信！



東日本大震災復興のための 女性リーダーシップ基金（ノルウェー基金）

- 男女平等の先進国であるノルウェー王国からの復興支援の一環として、平成24年11月に基金を設立（約2,000万円）
- 事業期間：平成24年11月～28年9月

復興活動を主導する
ことのできる女性
人材の育成

全国的な女性の
ネットワーク構築

◆ ノルウェー
視察交流

交流・招聘

調査研究・
事業実施

◆ 女性管理職育成
プログラム調査
地域リーダー育成

講座等
広報啓発

ネットワーク・
キャンペーン

◆ イベント、
講座等の実施
◆ パネル展・広報紙等

◆ 被災3県センター
連携事業
◆ 男女共同参画センター
防災・復興全国キャン
ペーン



財団中期方針 (平成25年度～28年度)

- 東日本大震災の被災地にある財団として、**優先的に取り組むべき方針** (事業概要 p4～5)
- 前期の中期方針の取組期間を1年前倒しして策定
 - (1) 防災・復興における男女共同参画を進める事業
 - (2) 政策・意志決定過程への男女共同参画を進める事業
 - (3) 協働の取り組み
 - (4) 法人基盤と財団組織の強化



男女平等のまち仙台の実現を目指して

○ 公益財団法人として

- 財団固有のミッションの達成に向けて、公益目的事業を安定的かつ継続的に実施。地域で信頼される存在に。

○ 指定管理者として

- 市民活動の支援・交流、相談事業等の一層の充実を図るとともに、男女共同参画推進の拠点施設として、発信力を強化

○ 外郭団体として

- 男女共同参画せんだいプラン2011の推進の担い手として、政策の実現に寄与

3つの役割を有機的に結び付けて、相乗効果を発揮